

標準委員会 システム安全専門部会 シビアアクシデントマネジメント分科会
第40回シビアアクシデントマネジメント分科会 議事録

1. 期 間 2022年9月16日（金）10:00～11:00

2. 場 所 Web会議

3. 参加者（敬称略）

（委 員） 植田主査（電中研），大友幹事（東北電），及川（東芝 ESS），千年（日立 GE），
柴本（JAEA），辻（MHI），出町（東大），板東（東電 HD），西川（関電），
守田（九大），山中（原電），山本（JANUS），涌永（中部電），二木（TEPSYS）
（欠席委員） 倉本（NEL），西村（電中研）
（常時参加者） 菊池（東北電）

（15 名）

4. 配付資料

S2SC40-0 議事次第

S2SC40-1 第39回SAM分科会 議事録(案)

S2SC40-2 今後の進め方_スケジュールについて

S2SC40-3-1 倫理教育に関する資料

S2SC40-3-2 標準委員会倫理教育への意見，感想等

S2SC40-参-1 シビアアクシデントマネジメント分科会名簿

S2SC40-参-2 調査資料とSAM標準への反映について

5. 議事内容

（1）前回議事録確認

大友幹事より，S2SC40-1 の資料を用いて，前回議事録について紹介された。特にコメントはなく，議事録は正式に承認された。

（2）シビアアクシデントマネジメント標準改定について

大友幹事より，S2SC40-2 の資料を用いて 2024 年の標準改定に向けたスケジュールについて，および S2SC40-参-2 の資料を用いて前回改正時の調査資料と標準への反映を参考にコアメンバーでピックアップを開始した旨，次回分科会で改定方針を示すことについて紹介された。

主な議事を以下に示す。

- ・ 今回の改定の方向性として，本文も改正する見込みはあるのか。
→まだ作業を開始したところで，具体的な改定の案がまとまっていない。

- ・ 前回改正時の新知見スクリーニング時に PRA の国際会議に関する記載はないが、検討はしていないのか。
→検討の場では国際会議の動向について議論はしている。標準は基本的な考え方等のアプローチを示しているもので、大まかな効果の程度感を付属書に書き込んでいる。
- ・ 前回改定した標準の中で「発電所せい弱性の摘出フロー」があり、「PRA だけで評価可能か」と分岐する部分がある。精緻な PRA でなくても評価可能な場合もあると思うので、そういう点でも検討したらよいのでは。
→新知見とは別に前回の議論が十分だったかという観点でも検討していきたい。
- ・ 前回改定について対象期間が 2016/10 までとなっているが今回の調査範囲はどのようになるのか。
→前回調査期間以降からと思われるが、確認する。

議論の結果、作業会の状況を次回分科会で報告することとした。

(3) 倫理教育について

大友幹事より、S2SC40-3-2 の資料を用いて、事前に頂いた標準委員会倫理教育への意見・感想等について紹介された。

他に出された意見・感想等を以下に示す。

- ・ 個人の倫理観もあるが、組織の倫理観というものもあり、カビのように根差したもので、取り除くのが難しいといった観点で対処する必要もある。
- ・ 倫理だけ守れば大丈夫というようなスポコン論にせず、多様性について理解することが重要。

(4) 次回スケジュールについて

次回分科会 11 月 16 日(水)13 時 30 分より開催することとした。

以 上